

## 属性認証SWGの検討の進め方(案)について

---

平成27年10月27日

- 平成28年1月より、個人番号カードの交付が開始。個人番号カード及び公的個人認証サービスの幅広い国民への普及等を通じて、一層の行政の効率化及び国民の利便性の向上を図る取組が重要。
- 本懇談会は、地方公共団体、国の機関、民間事業者の参加の下、システムや制度等の面から、個人番号カード及び公的個人認証サービスの具体的な普及推進策などについて検討するとともに、地方公共団体における個人番号の具体的な利活用方策等についての検討を実施。

## 個人番号カード・公的個人認証サービス等の利活用推進の 在り方に関する懇談会

座長：須藤 修(東京大学大学院 教授)

### 個人番号カード等の利活用検討WG

主査：須藤 修(東京大学大学院 教授)

- 1) 個人番号カードの具体的な利活用方策、セキュリティに配慮した普及推進策など
- 2) 地方公共団体における個人番号の具体的な利活用方策、海外在留者への行政サービスの提供の方法 等

### 公的個人認証サービス等を活用したICT利活用WG

主査：大山 永昭(東京工業大学 教授)

- 1) 下記における公的個人認証サービスの利活用推進策  
①CATV等放送事業 ②郵便事業 ③通信事業
- 2) 国の行政機関における公的個人認証サービスの利活用推進策
- 3) その他官民の幅広い分野における公的個人認証サービスの利活用推進策、セキュリティ確保策

### 属性認証検討SWG

主査：手塚 悟(東京工科大学教授)

- ◆ 電子調達、電子私書箱における権限委任(属性認証)の仕組みの検討

### 利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロード検討SWG

主査：手塚 悟(東京工科大学教授)

- ◆ 個人番号カードに格納される利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロードの仕組みの検討

..... 検討課題の議論の進捗状況に応じ、SWGを設置。

## 【有識者】

伊丹 俊八	国立研究開発法人情報通信研究機構 理事
○ 大山 永昭	国立大学法人東京工業大学像情報工学研究所 教授
小尾 高史	国立大学法人東京工業大学像情報工学研究所 准教授
田邊 正透	地方公共団体情報システム機構 公的個人認証サービスセンターセンター長
手塚 悟	東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 教授
中村 家久	住友商事株式会社 理事 メディア事業本部長

## 【自治体】

岡本 弘	三鷹市 市民部長
鹿野 靖雄	神戸市 企画調整局情報化推進部長
東條 洋士	徳島県政策創造部地域振興課 課長

## 【通信・放送事業者】

橘井 崇	ソフトバンク株式会社プロダクト&マーケティング統括サービスプラットフォーム戦略開発本部プラットフォーム企画統括部アプリケーション部部長
桑原 知久	一般社団法人スマートテレビ連携・地域防災等対応システム普及高度化機構 事務局長
篠原 弘道	日本電信電話株式会社 代表取締役副社長研究企画部門長
田村 穂積	株式会社NTTドコモ 執行役員 スマートライフ推進部長
塚田 祐之	日本放送協会 専務理事
林 正俊	一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟 常務理事
増田 晴彦	KDDI株式会社 メディア・CATV推進本部 本部長
森島 秀実	エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 理事ソリューションサービス部番号制度推進タスクフォース長

## 【ベンダ・ユーザ企業】

朝浦 幸男	日本年金機構事業企画部門 担当理事
新井 聡	電子認証局会議 理事 (株式会社エヌ・ティ・ティネオメイトITビジネス本部)
安藤 誠	パナソニック株式会社 AVCネットワークス社 STBネットワークビジネスユニットビジネスユニット長
岩井 利夫	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ 取締役常務執行役員
岡嶋 則幸	株式会社セブン-イレブン・ジャパン 商品本部 サービス・雑貨部 シニアマーチャンダイザー
北岡 俊治	富士通株式会社 執行役員常務
斎藤 浩	株式会社日立製作所 情報・通信システム社 公共システム事業部 副事業部長
鶴田 信夫	日本郵便株式会社 執行役員
戸田 文雄	日本電気株式会社 ビジネスイノベーション 統括ユニット理事兼番号事業推進本部長
富田 修身	株式会社ジーシービー加盟店 事業統括部門 加盟店事業統括部 シニアアドバイザー
野泉 和宏	三井住友カード株式会社 戦略事業部長
長谷川 大幾	株式会社ローソン エンタテイメント・サービス事業本部 執行役員
水野 克己	株式会社クレディセゾン 取締役
矢部 剛	日本生命保険相互会社 取締役常務執行役員
吉本 和彦	フィデアホールディングス株式会社 顧問

## 【関係省庁】

金崎 健太郎	内閣官房社会保障改革担当室内閣参事官
犬童 周作	内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室参事官
坂本 三郎	法務省民事局商事課長
佐々木 裕介	厚生労働省政策統括官付情報政策担当参事官
村上 智信	経済産業省商務情報政策局情報プロジェクト室長

## 基本的考え方

1. 来年1月から、個人番号カードの無料交付が開始、公的個人認証サービスの民間事業者による活用の可能。
2. こうした環境下、全ての国民利用者にカードを取得していただくには、政府一体となった取組が重要。
3. カード一枚で身近なサービスを受けられる「ワンカード化」、電気・水道等の公共サービスの手続を一度にまとめて行える「ワンストップ化」を2020年を目途に実現（2014年6月3日（火）においてIT総合戦略本部会合における安倍総理の発言）
4. 骨太方針2015、日本再興戦略改訂2015等において、2017年以降のクレジットカードとのワンカード化、電子証明書のスマートフォンへのダウンロード、電子私書箱を活用したワンストップサービス、個人番号カードを活用した政府調達事務、テレビやスマートフォン等によるアクセス手段の提供を2017年1月のマイナポータルの運用開始にあわせて実現と明記。

## 必要となる制度整備に向けた課題検証

- 公的個人認証サービスを活用したユースケースを具体化することで、実現に向けた課題を明確化。
- 例えば、制度整備が必要な場合には、技術面、制度面からの課題の検証を踏まえた**制度整備を推進**。

（例）電子調達や電子私書箱における属性認証（電子署名法の在り方の検討）

## 先行導入に向けた検討

- 目に見える具体的なユースケースの拡充に向け、関係者の作業とコストの明確化を実施。
- 実サービス化に向け、誰が、いつまでに、何をするのかを明確化し、実用化の取組を促進。

目的	目標概要
個人番号カードに対応したCATV・STBの実用化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ケーブルテレビのSTBやリモコン、スマートテレビでの個人番号カード読取機能や認証機能を実装したSTB等の仕様を策定</li> </ul>
利用者証明用機能のスマートフォンへのダウンロードの実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロードの実現にむけた課題解決策の検討（制度運用面・技術面）</li> </ul>
電子調達・電子私書箱における活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ サービス連携事業者と電子私書箱事業者間の認証連携などの電子私書箱のインタフェース要件を策定</li> <li>・ 引越一斉通知、官民の証明書の提出等のワンストップサービス機能を実装する標準仕様を策定。</li> <li>・ 受取人において、送付された書類について、法人代表者から委任を受けた担当者が作成・送付された書類であることを確認できる仕組みを構築。</li> <li>・ 個人番号カードを活用した電子調達手続における法人代表者から委任を受けた担当者を認証する仕組み（属性認証）</li> </ul>
先行事例の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 共通プラットフォーム事業者（署名検証者）の機能要件、作業とコストの明確化</li> <li>・ PINなし認証方式の運用基準の策定</li> <li>・ クレジットカードとのワンカード化、コンビニ事業者におけるイベントのチケットレスサービスの実現に向けたアクションプラン</li> </ul>

# 検討スケジュール(案)

2015年

9月

10月

11月

12月

2016年

1月

2月

3月

4月

5月

6月

▲ 個人番号付番・通知開始  
(10/5~)

▲ 個人番号カードの交付  
(1/1~)

▲ 成長戦略・骨太決定

公的個人認証サービス利活用推進事業(H.27予算)による実証実験等

親会

第1回  
(9/29)

- ・検討課題・目標の確認
- ・WGの設置

第2回

- ・WGからの報告
- ・28年度概算要求状況
- ・中間取りまとめ

第3回

- ・とりまとめ

公的個人認証サービス  
利活用WG

第1回

- ・WGの検討の進め方等

第2回

- ・SWGの検討状況

第3回

- ・SWGの検討状況
- ・実証事業の報告

第4回

- ・SWGの検討状況
- ・実証事業の報告

属性認証検討SWG

第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

(検討事項)

国の電子調達、電子私書箱における権限委任(属性認証)の仕組みについて、技術面、制度面から検討

利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロード検討SWG

第1回

第2回

第3回

第4回

(検討事項)

利用者証明用機能のスマートフォンへのダウンロードの仕組みについて、技術面、制度面から検討

## SWG第1回 (10/27)

- 電子署名法について
- 現在行われている属性認証について
- 実現を目標とするサービス等

## SWG第2回 (11月)

- 前提となるシステムの概要(電子調達、電子私書箱等)
- 見直しの方向性

## SWG第3回 (12月)

- WGに対する報告の概要
- 今後の進め方

## WG・親会 (12月)

- 属性認証SWG・スマホダウンロードSWGからの報告
- 今後の進め方



**必要に応じ、制度整備等**

## 検討課題

### 【基本的な考え方】

- 国民利用者へ、**個人番号カードが「使いやすい、メリットのあるカード」**であることを示すことが重要。
- これまでの実証の結果、**公的個人認証サービスを活用したサービスが具体化**。今後**「実用化」に向けた検討**を推進。
- 目に見える具体的なユースケースの拡充に向け、**実現に向けた課題解決方策の検証**、実証事業を通じ、サービス提供事業者・関係者の**作業とコストの明確化**。

検討項目	検討事項
①コンビニ交付 (戸籍、イベントチケット等)	○コンビニのキオスク端末からの戸籍の証明書等やチケット等の交付 ○会場時におけるチケットレスサービス
②クレジットカード・サービスとの連携	○クレジットカードと個人番号カードのワンカード化に向けた検討
③個人番号カードに対応したアクセス手段の多様化	○ケーブルテレビのSTB、スマートテレビ、スマートフォン等における個人番号カードの読取機能等の実用化
④電子調達・電子私書箱における活用	○電子調達:個人番号カードを用いて、企業の担当者が、非対面・非書面で資格審査から契約までの手続を実施し得るための属性認証を実現するシステム等の検討 ○電子私書箱:官民の各種証明書類を電子的に蓄積し、個人番号カードや属性認証の仕組みを用いて利用者が指定する宛先に伝送するサービスの実現
⑤スマートフォンへの利用者証明用電子証明書の格納	○スマートフォンを、個人番号カードとして使用可能とするための、技術的・制度的課題の検討(利用者証明用電子証明書のスマートフォンへのダウンロード等)
⑥地方公共団体における利活用方策	○個人番号カードの具体的な利活用方策、セキュリティに配慮した普及推進策 ○地方公共団体における個人番号の具体的な利活用方策、海外在留者への行政サービスの提供の方法等



# 【参考】個人番号カード・公的個人認証サービスに関するこれまでの取組

項目	地域等	実現成果
アクセス手段の拡大	①長野県須坂市、富山県南砺市等 (須高ケーブル、となみケーブル等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ケーブルテレビのセットトップボックス(STB)のカードリーダーに個人番号カードをかざし、テレビ画面から自己のヘルスケア情報の閲覧、自治体の施設を予約を実施。</li> </ul>
	②鳥取県南部町 (中海テレビ放送 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高齢者等が、毎日ケーブルテレビのSTBに個人番号カードをかざし、「認証」の上、自分の健康状況を入力。町の健康管理センターから「見守り」を実施。</li> </ul>
	③徳島県美波町 (日本テレビ、四国放送 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テレビ画面に個人名付きの避難指示を表示し、住民の迅速な避難誘導を実施。</li> <li>● また避難所では、住民の入所・退所の管理に個人番号カードを活用。住民の避難状況を把握。</li> </ul>
身近な生活情報の提供	④群馬県前橋市 (前橋市医師会 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幼児や児童を持つ世帯を対象に、電子化された母子健康手帳の情報(予防接種記録や医療機関における健診情報)を個人番号カード使って閲覧するサービスを実現。</li> </ul>
電子私書箱	⑤日本郵便、日本生命、NHK 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電子私書箱を活用した引越一斉通知サービスを実現(個人番号カードで認証された利用者が電子私書箱に住所変更通知すると、電子私書箱から指定された組織あてに一斉通知)。</li> </ul>
個人番号カードの機能拡大	⑥山形県酒田市 (日本海総合病院、クレディセゾン等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 病院受診時に、受付で患者自身が個人番号カードをリーダにかざし、リアルタイムに保険資格を確認。【保険証の機能】</li> <li>● 支払受付で、患者自身が個人番号カードをリーダにかざし、当該カードで支払い処理を実施【クレジットカードの機能】</li> </ul>

# ①ケーブルテレビを活用した個人番号カードによる施設予約等

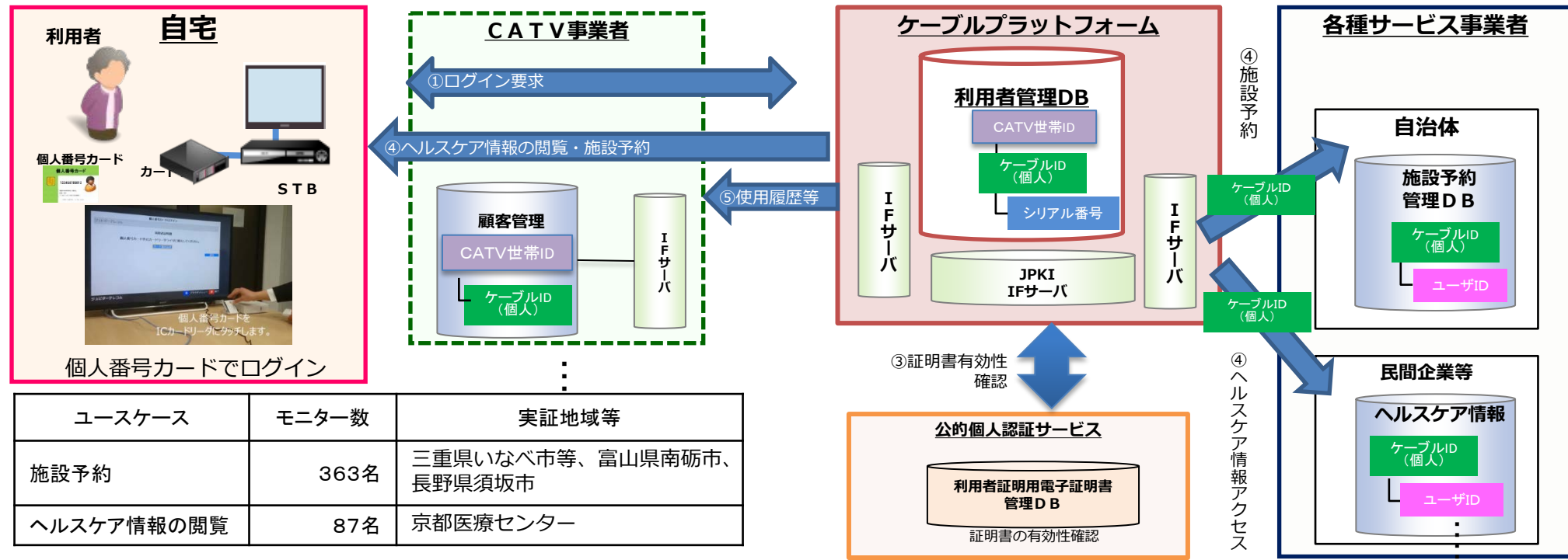
## テレビ・ICカードを活用した自治体施設システム

実証内容

- ✓ 個人番号カード（公的個人認証サービスの利用者証明用シリアル番号）と「共通プラットフォームID（個人ID）」をあらかじめ紐付けておくことで、ケーブルテレビを介して資格確認（ログイン）を実施、ヘルスケア情報の閲覧や地方公共団体の施設予約を実施。
- ✓ 具体的には、ケーブルテレビのSTBの外付けリーダから個人番号カードを読み取り、ケーブルテレビプラットフォームを通じて、公的個人認証サービスとの間で証明書有効性の確認等を行い、本人認証を実施

効果

- ✓ 高齢者等に身近なテレビを活用することにより、パソコンに不慣れな方でも容易に利用。また、地域密着サービスであるCATV事業者ならではのサポートも可能。



ユースケース	モニター数	実証地域等
施設予約	363名	三重県いなべ市等、富山県南砺市、長野県須崎市
ヘルスケア情報の閲覧	87名	京都医療センター

# ②鳥取県南部町における健康づくり、高齢者・子ども見守り

## ケーブルテレビ・ICカードを活用した高齢者・子ども見守り

目的

- ✓ ケーブルテレビとICカードを活用した地域住民向けの高齢者・子ども見守りサービスの実現可能性を検討するとともに、地域課題である少子高齢化への対策と新産業の創出を目的とする。

実証内容

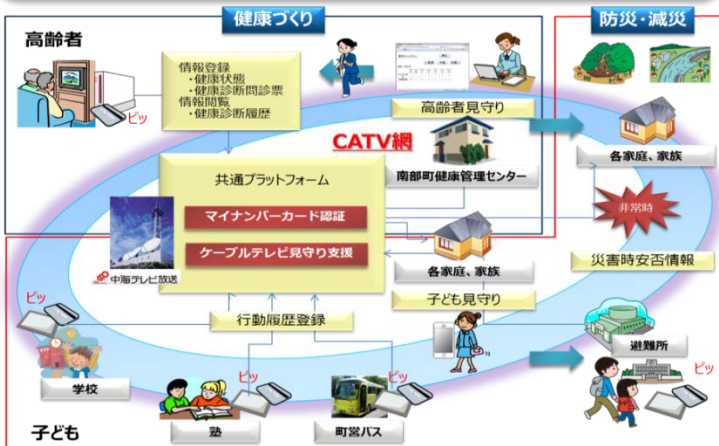
- ✓ 個人番号カードを模したICカードにより認証を行い、高齢者等が自身の健康状態をテレビのリモコンで簡単に登録できる仕組みを構築。登録したデータは町の健康管理センターの保健師が閲覧し、見守りと健康支援に活用。
- ✓ 町内の小学生にICカードを配布し、登下校時に学校、図書館等に設置したリーダーにカードをタッチすることにより、保護者にメールが届く仕組みを構築。保護者は、簡単なリモコン操作によりテレビ画面上でも行動履歴を参照。

効果

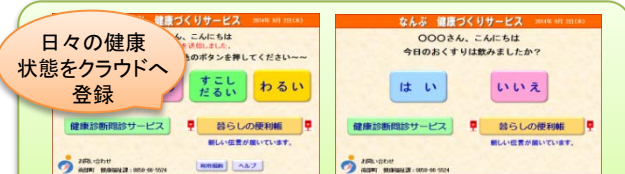
- ✓ アンケート調査を実施し、サービスの実現可能性等を調査。  
 ・例えば、高齢者見守りについては、アンケートでは62.0%の利用者がサービスの継続・実用化を希望し、「サービスが実用化された場合に支払ってもよい」と思える1人当たりの利用料は、平均488円/月。  
 ⇒328人以上に展開できれば事業化が可能となる見込み。

鳥取県南部町は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H26年度)を実施。

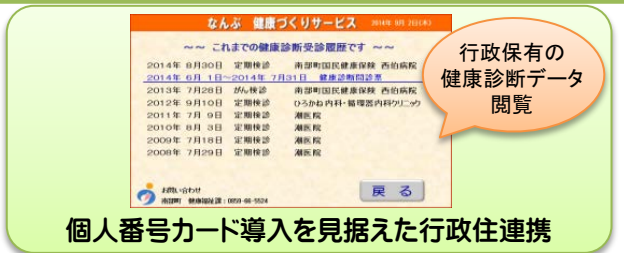
### なんぶスマートライフ・プロジェクト推進事業



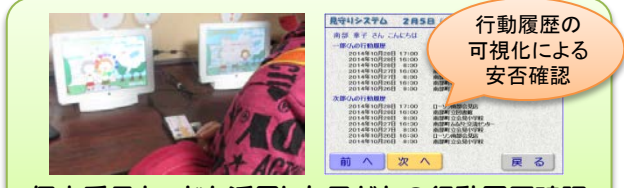
個人番号カードと次世代STBを利用した個人認証



個人番号カードによる高齢者見守り



個人番号カード導入を見据えた行政住連携



個人番号カードを活用した子どもの行動履歴確認

## テレビ・ICカードを活用した防災対策システム

### 課題

- ✓ 徳島県は全国平均を上回る勢いで高齢化が進行。(徳島県の高齢化率:28%、全国平均:24.1%(平成24年度))
- ✓ 南海トラフ巨大地震が発生した場合、10万棟以上の建物全壊など深刻な被害が予想されており、災害時における高齢者を含めた住民の迅速な避難誘導や避難状況の把握など防災対策が急務。

### 実証内容

- ✓ 高齢者にとって身近なテレビを活用した避難指示システムやICカードによる避難者管理システムを構築し、徳島県美波町において約100世帯を対象にして実証実験(避難訓練)を2回実施。

### 成果・効果

- ✓ テレビ画面に表示した避難指示により、避難完了までの平均時間が約2分(11.2分→9.6分)短縮。
- ✓ また、ICカードを活用した一元的な情報管理により、迅速かつ詳細な避難者情報の把握を実現。
- ✓ 個人番号カードへの対応に向けて、上記システムの自立的・継続的な運営組織を設立(2015年9月)。

徳島県は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H25年度)を実施。



テレビ画面表示にて個別の避難指示

個人番号カード  
に移行



ICカードにより、避難が完了した  
住民の情報を迅速に取得し、一元管理



タブレット端末に  
住民の避難状況を表示

# ④群馬県前橋市における母子健康情報管理

## 個人番号カードの活用を想定した母子健康情報管理

### 課題

- ✓ 健康管理の分野においては、医療機関や小学校、幼稚園等における健康診断情報などが一元的に管理されておらず、市民にとって情報を入手しにくい状況であることが課題。

### 実証内容

- ✓ 幼児や児童を持つ世帯を対象に、過去の母子健康手帳の記録を電子化。現在の健康記録と結びつけ、予防接種記録や医療機関、保健センター、小学校等における検診情報も記載することで、一貫した子供の健康情報を提供。ICカードをリーダー等にかざすだけでログインできるシステムを実装。
- ✓ また、診療所や拠点病院等の医療機関間で検査画像等の画像情報を共有し、ICカードを用いた個人認証により閲覧出来る仕組みを構築。
- ✓ 個人番号カードの配付開始後は、個人番号カードを使用予定。

### 成果・効果

- ✓ 電子母子健康手帳については、実証実験に参加した市民へのアンケートでは8割以上がサービスの継続・実用化を希望。現在、広告モデル等によるサービスの無料提供を検討中。
- ✓ 上記システムの自立的・継続的な運営を担う組織を設立(平成27年3月)。

群馬県前橋市は、総務省からの支援により、ICT街づくり推進事業(H25・26年度)を実施。



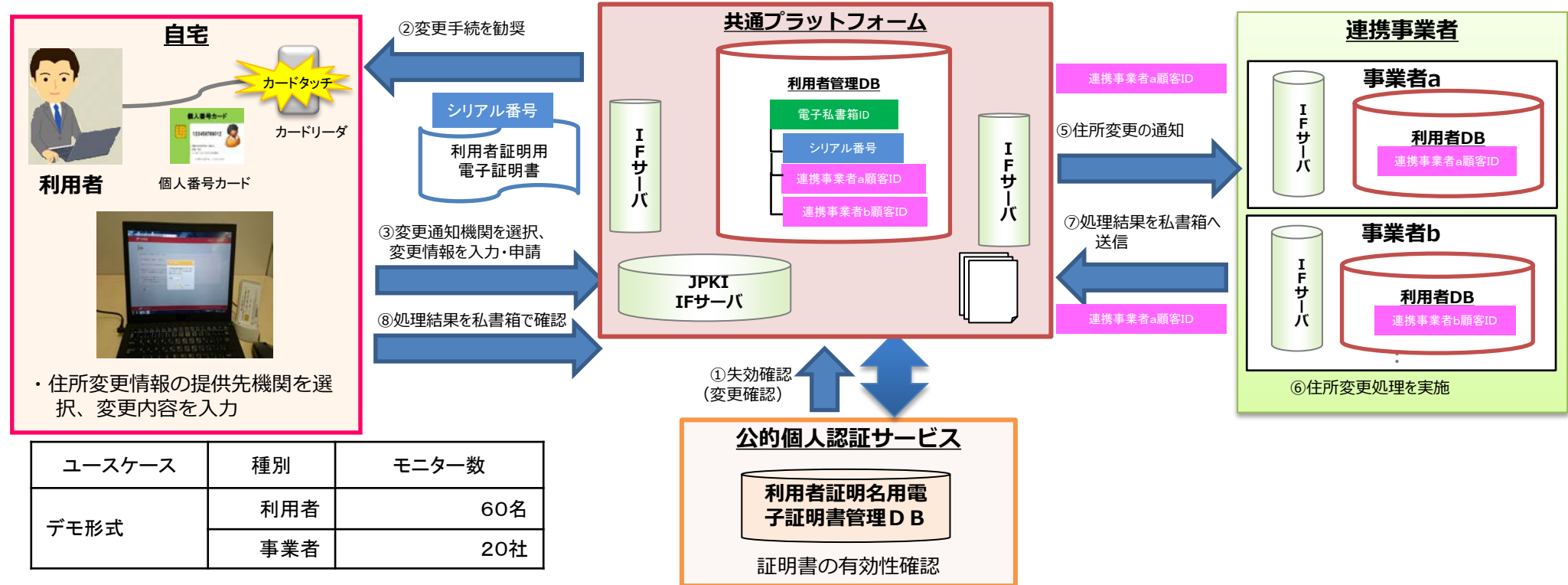
## 個人番号カードを活用した電子私書箱

### 実証内容

✓ 共通プラットフォーム（電子私書箱事業者）が公的個人認証サービスから受け取る『失効情報』を契機として、利用者あてに、『変更案内』を実施。利用者は、電子私書箱に、あらかじめ通知する旨を同意した事業者あてに一括して住所変更通知を依頼。

### 効果

✓ 利用者にとっては、機関ごとに申請・届出をする必要がなくなり、手続きの煩雑さが軽減。  
 ✓ 事業者にとっては、返戻がなくなるため、住所の追跡調査や住所変更届の提出依頼、再送作業やコストが軽減。



ユースケース	種別	モニター数
デモ形式	利用者	60名
	事業者	20社

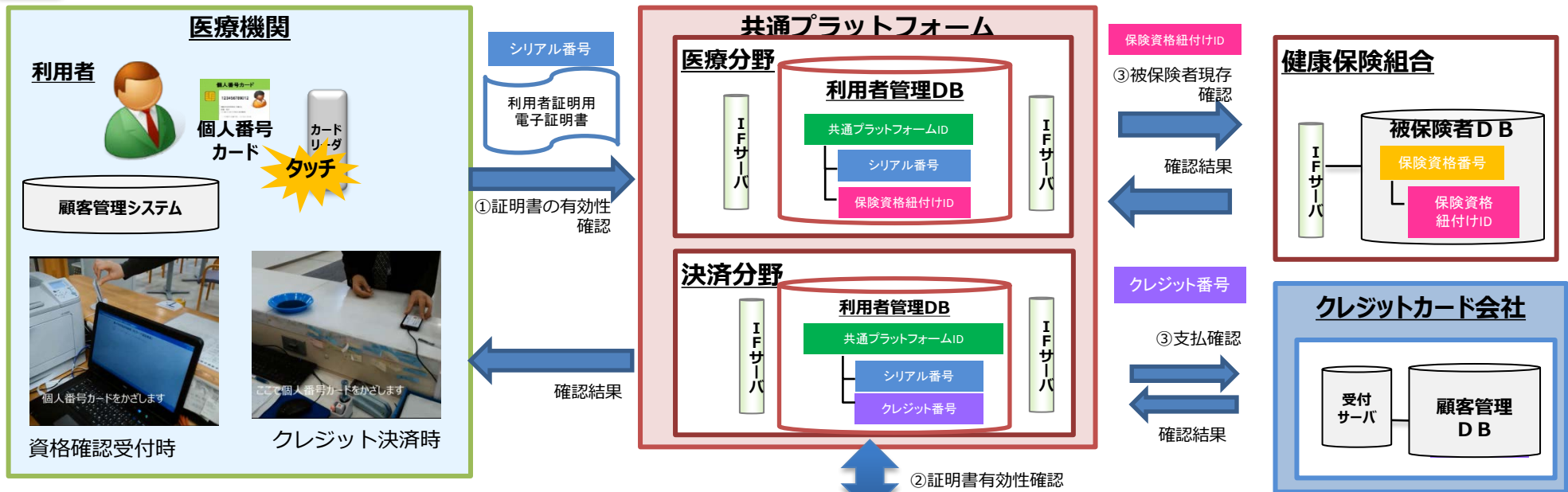
## 個人番号カード”を活用した資格確認・クレジット決済

実証内容

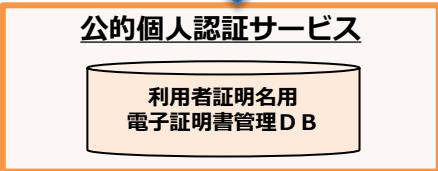
- ✓ 個人番号カード（公的個人認証サービスの利用者証明用シリアル番号）と「被保険者番号」、「クレジット番号」をあらかじめ紐付けておくことで、受診時あるいは決済時、個人番号カードを使って、オンラインによる健康保険資格確認、クレジット会社あてに支払依頼を行う。

効果

- ✓ 医療機関、保険者：健康保険資格情報に変更があった場合、診療報酬に対する医療機関、保険者の返戻事務処理等が減少し、業務の負荷を軽減。
- ✓ クレジット会社：クレジット番号を入力することがないため、セキュリティの向上が期待。



ユースケース	モニター数	実証地域等
保険資格確認 クレジット決済	280名	山形県酒田市 日本海総合病院 クレディセゾン 等



## 経済財政運営と改革の基本方針2015(平成27年6月30日閣議決定)

### 第2章 経済の好循環の拡大と中長期の発展に向けた重点課題 1 我が国の潜在力の強化と未来社会を見据えた改革 (IT・ロボットによる産業構造の改革)

「世界最高水準のIT利活用社会」の実現に向け、「世界最先端IT国家創造宣言」に基づく施策を着実に進める。(略) **個人番号カード、電子私書箱等を活用したワンストップサービスや政府調達の全工程の電子化等を通じ、公共サービスの改革を進める。(略)**

## 日本再興戦略 改訂2015 (平成27年6月30日閣議決定)

### 一. 日本産業再興プラン5. 世界最高水準のIT社会の実現

#### (3) 新たに講ずべき具体的施策 ii) 安全・安心を前提としたマイナンバー制度の活用

#### ② 個人番号カードの普及・利活用の促進

(略) 2017年度以降の**個人番号カードのキャッシュカードやデビットカード、クレジットカードとしての利用**やATM等からのマイナポータルへのアクセスの実現に向けて、個人情報保護や金融犯罪の防止等が十分確保されることを前提に、民間事業者と検討を進める。加えて、**個人番号カードの公的個人認証機能について、2017年中のスマートフォンでの読み取り申請の実現や、2019年中の利用者証明機能のスマートフォンへのダウンロードを実現すべく、必要な技術開発及び関係者との協議を進める。**(略) また、個人番号カードにより提供されるサービスの多様化を図るために、**個人番号カードを利用した、住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄本等のコンビニ交付について、来年度中に実施団体の人口の合計が6千万人を超えることを目指す。**さらに、**住民票を有しない在留邦人への個人番号カードの交付や、海外転出後の公的個人認証機能の継続利用等のサービスの2019年度中の開始を目指し、検討を進める。**

#### ④ マイナポータルを活用したワンストップサービスの提供

**個人番号カードの公的個人認証機能を活用し、官民で連携した仕組みを設け、電子私書箱機能を活用した官民の証明書類の提出や引越・死亡等に係るワンストップサービスや、テレビ・スマートフォン等を活用した電子的な行政手続等への多様なアクセスを、2017年1月のマイナポータルの運用開始に合わせて順次実現する。**

#### ⑤ 個人番号カード及び法人番号を活用した官民の政府調達事務の効率化

**法人の代表者から委任を受けた者が、対面・書面なく電子申請・電子契約等を行うことを可能とする制度的措置及びシステム構築に向けた検討を行い、個人番号カード及び法人番号を用いて、政府調達に関する入札参加資格審査から契約までの一貫した電子化を2017年度から順次開始する。**また、入札資格情報や調達情報の国・地方公共団体間での共有や、調達情報の取得を容易にすることで、民間事業者による参入を促進すべく、2017年度から順次地方公共団体での上記システムの利用を可能とする。